

令和3年4月30日

保護者各位

種子島高等学校長

連休期間中における新型コロナウイルス感染症対策について（お願い）

陽春の候、保護者の皆様におかれましては、平素から本校の教育活動に深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先日政府から東京都など4都府県に緊急事態宣言が発出されました。本県では、感染状況の段階は「ステージⅡ」ではありますが、感染防止対策徹底期間に変わりありません。現在、本校でも感染症感染を行いながら授業や部活動、学校行事等の教育活動を実施しているところです。

つきましては、5月1日からの連休期間中も各御家庭において下記のとおり「新しい生活様式」を踏まえた感染症対策について御理解と御協力をお願いします。

記

1 基本的な感染症対策について

- (1) 連休期間中も3密になりそうな場所への移動を避けてください。
- (2) 島外等へ移動する場合はその行動履歴を手帳に記入してください。
- (3) 毎日自宅で健康観察を行い、発熱等の風邪症状が見られる場合は、自宅で休養させてください。連休期間中も、健康観察や検温を行い、その結果を手帳に記録してください。
- (4) 部活動等で登校する際は清潔なハンカチ・ティッシュ・マスク・マスクを置く際の布（ハンカチなど）を持参させてください。
- (5) 今後も家庭全体で「新しい生活様式」を実践していただき、裏面の資料を参考に、感染症対策に取り組んでください。

2 その他

- (1) 学校行事の変更等、学校からの連絡等につきましては、随時本校の公式ブログ及び安心安全メールでお知らせします。
- (2) 感染者、濃厚接触者とその家族、医療従事者とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は断じて許されないものであり、感染症に関する適切な知識を基に、偏見や差別が生じないよう御理解と御協力をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

